

重篤患者数実績

当院では患者の皆様様に安全で質の高い医療を提供するため、毎月応需状況などの改善に向けた検討を実施しております。

番号	疾病名	基準(基準を満たすもののみ数えること)	平成24年度 ※1			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度 (12月末迄)※2		
			患者数 (人)	退院・転院 (転院を含む) (人)	死亡 (人)	患者数 (人)	退院・転院 (転院を含む) (人)	死亡 (人)												
1	病院外心停止	病院前心拍再開例、外来での死亡確認例を含む	62	9	53	119	25	94	128	26	102	128	24	104	140	33	107	113	16	97
2	重症急性冠症候群	切迫心筋梗塞、急性心筋梗塞又は緊急冠動脈カテーテル施行例	12	12		5	5		9	8	1	27	27		42	41	1	51	50	1
3	重症大動脈疾患	急性大動脈解離又は大動脈瘤破裂	3	3		2	2		7	5	2	4	4		3		3	3	3	
4	重症脳血管障害	来院時JCS 100以上、開頭術、血管内手術施行例又はtPA療法施行例	24	10	14	20	15	5	20	14	6	41	35	6	31	25	6	32	26	6
5	重症外傷	Max AISが3以上又は緊急手術施行例	42	38	4	79	75	4	110	103	7	130	128	2	100	99	1	95	90	5
6	重症熱傷	Artzの基準による	1	1		3	3		4	4		3	3		5	5		3	3	
7	重症急性中毒	来院時JCS 100以上又は血液浄化法施行例	6	6		20	20		13	13		5	5		8	8		8	8	
8	重症消化管出血	緊急内視鏡施行例	11	9	2	18	17	1	36	36		69	67	2	49	49		62	62	
9	重症敗血症	感染性SIRSで臓器不全、組織低灌流又は低血圧を呈する例	15	10	5	15	14	1	39	31	8	67	56	11	62	52	10	67	60	7
10	重症体温異常	熱中症又は偶発性低体温症で臓器不全を呈する例	3	3		4	4		4	4		4	4		1	1		3	3	
11	特殊感染症	ガス壊疽、壊死性筋膜炎、破傷風等				1	1		1		1							2	2	
12	重症呼吸不全	人工呼吸器管理症例(1から11までを除く。)	18	13	5	27	23	4	35	33	2	41	35	6	26	24	2	39	36	3
13	重症急性心不全	人工呼吸器管理症例又はSwan-Ganzカテーテル、PCPS若しくはIABP使用症例(1から11までを除く。)	7	7		12	10	2	22	19	3	21	21		22	20	2	19	15	4
14	重症出血性ショック	24時間以内に10単位以上の輸血必要例(1から11までを除く。)				5	4	1	3	3					1	1		2	1	1
15	重症意識障害	JCS 100以上が24時間以上持続(1から11までを除く。)	2	2		31	31		5	4	1	11	11		4	4		2	2	
16	重篤な肝不全	血漿交換又は血液浄化療法施行例(1から11までを除く。)																		
17	重篤な急性腎不全	血液浄化療法施行例(1から11までを除く。)	2	2		3	3		2	2		9	8	1	13	12	1	8	8	
18	その他の重症病態	重症膵炎、内分泌クリーゼ、溶血性尿毒症性症候群などで持続動注療法、血漿交換又は手術療法を実施した症例(1から17までを除く。)				21	21		2	2		1	1							
合計 (年間重篤患者数) →			208	125	83	385	273	112	440	307	133	561	429	132	507	374	133	509	385	124

分類条件: 一つの症例で複数の項目に該当する場合は、最も適切なもの一つのみを選択する。

※1 平成24年12月1日に第三次救急医療機関である「救命救急センター」として指定を受けたためそれ以降の受入を計上しております。

※2 平成29年度は途中集計であり、平成29年12月末までの即時集計であり変動致します。